

機械遺産にウォシュレット

新たに5件選定 吉野山ロープウェイも

日本機械学会は23日、生活の発展や社会に貢献し、歴史的に意義のある「機械遺産」に、温水洗浄便座「ウォシュレット」



「G」、「吉野山ロープウェイ」（奈良県吉野町）など5件を新たに選んだと発表した。「ウォシュレットG」は、昭和55年に現在のTOTTOが発売。おしりの洗うポイントや水温、噴射の角度などさまざまなデータを社内を集め、多くの新

現在のTOTTOの温水洗浄便座「ウォシュレットG」（日本機械学会提供）

技術を開発した。現在は北九州市小倉北区の同社歴史資料館に保管されている。

「吉野山ロープウェイ」は4年に運行を始めた国内で現役最古のロープウェイ。架線支持材や支柱の多くの部分で、80年以上たった現在も当時の物が使われている。

このほか、通勤用車両に多いステンレス車両の原型となった「ステンレス鋼製車両群（東急5200系と7000系）」

（横浜市の総合車両製作所が保存）や、現存する最古の動力旋盤「池貝工場製第1号旋盤」（国立科学博物館が保存）、理研光学工業（現リコー）が30年に発売した「卓上複写機リコピー101」（静岡県沼津市の同社事業所に保管）を選んだ。

機械遺産は計55件となった。



吉野山ロープウェイ（吉野大峯ケーブル自動車株式会社・日本機械学会提供）